

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | キッズガーデン Seeds | | 公表日 | | 令和7年3月20日 | |
|----------|---------------|--|-----|---------|--|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 5 | | ●スペースの確保も考え戸外での活動も入れるなど活動内容を工夫している。 ●今年度から学習ルームを新たに設けることができた。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 5 | | | ●配置数的には問題はないが、職員が休んだ時や支援内容、個別対応によって足りないと感じることはある。(募集を行っている) ●人材難の社会情勢の中でもあるので、各々の職員が技能を磨き、環境や配置等工夫をしながら支援していく必要もあるかと思う。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 5 | | ●声の調整が難しい児童も居る為、防音マットを準備した。 ●その時の状況や個別で対応は違っているが、活動の場所やスケジュールなどで構造化している。 ●絵カードを活用している。 | ●周囲の物が刺激になりやすい児童が多いので、掲示物など環境面の配慮を心掛けていきたい。 ●今後、肢体不自由児の利用があればバリアフリーの面では改善していく必要があるかと思う。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 5 | | ●年間を通して空気清浄機やサーキュレーター、冬は加湿器、夏はミストを併用している。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 5 | | ●今年度からパニックや不安定になった場合にも学習ルームを活用している。また、こどもの状態に応じて静かな狭いスペースや広い庭を活用している。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 5 | | | ●目標管理シートが設けられているのでもっと活用できればと思う。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | | ●振り返りを行い反映できるように努めている。 ●評価はホームページで公表している。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | | ●半期ごとの振り返りや朝礼、個別に話をするなどして改善に努めている。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | 4 | | ●外部評価は行っていない。しかし、外部からの視点は大事だと思うので、今後の課題とする。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 5 | | ●外部研修を定期的に行っている。 ●出前講座等も活用している。 | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 5 | | | ●適切に作成済みで年度内に公表予定である。 |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 5 | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 5 | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 5 | | ●計画は共有されており職員間で支援の仕方を話し合っている。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 5 | | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 5 | | ●今年度より5領域に沿った支援内容を考え提供するよう心掛けている。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 5 | | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 5 | | ●児童の発達段階に合ったプログラムを作成している。 ●固定化しているものもあるが、子どもの年齢や時期で変化させるなど工夫している。 | |

| | | | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|--|--|--|---|
| 適切な支援の提供 | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 5 | | | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 5 | | | | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 4 | 1 | | | ●勤務の形態上、終了後に揃わない職員もいるので、システムの申し込み欄なども活用して共有を図るようにしていく。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 5 | | | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 5 | | | | ●児発管が行い、スタッフと共有している。 ●半年に1度モニタリングを行い、保護者・職員間で振り返りを共有し見直しに繋げている。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。 | 5 | | | | | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 5 | | | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 4 | | | | ●所長、児発管が参画している。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 5 | | | | ●町が計画して行う関係機関の会議にも参画して連携を取っている。 | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 5 | | | | ●学校や保護者と密に行っている。 ●送迎時に学校の先生と連絡するように心掛けている。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 4 | 1 | | | ●今年度は新1年生が多く利用となった為、適切に共有できた。 ●担当者会議にも参加し情報の共有に努めた。 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 3 | 2 | | | ●過去にもあまり該当者がいないが、居る場合は情報提供など適切に対応してきた。 | ●今年度1名該当。移行先がまだはっきりしないので決定すれば必要に応じ対応予定である。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 3 | 2 | | | | ●所長が鳥栖市教委のスーパーバイザーに定期的に助言を受けに行っている。 ●必要があれば今後は機会を設けていきたい。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 1 | 4 | | | | ●求められない保護者の方も居られる。今後保護者の要望があれば行っていきたい。 ●町内のゴミ拾いなどを行ったり、地域の公園や施設利用で偶然一緒になったりして関わる機会がある。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 2 | 3 | | | | ●鳥栖三神地区のこども部会には参加しているが、自立支援協議会へは参加がほとんどできていない為、今後の課題である。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 5 | | | | | ●送迎時、また必要に応じて電話やメールなどで行っている。 |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 4 | 1 | | | | ●相談支援事業所と協力しながら行っている。 ●ペアレントトレーニングは行っていないが、相談などを行っている。 |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 5 | | | | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 5 | | | | ●面談を行い意向を伺っている。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 5 | | | | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 5 | | | | | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 4 | 1 | | | | ●今年度は保護者会を計画し準備をしている。 ●過去に保護者会の託児できょうだい児の交流もあったが、きょうだい児の交流の場は持っていない。今後の課題である。 |

| | | | | | | |
|----------|--|---|---|---|--|--|
| 保護者への説明等 | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 5 | | | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 5 | | | ●ホームページやシステムのブログで発信している。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 5 | | | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 5 | | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 1 | 4 | | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 5 | | | ●マニュアルに沿った支援を行っている。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 5 | | | ●座学や避難訓練を行っている。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 5 | | | ●アセスメントの時に確認している。 |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 5 | | | ●アレルギーの児童が居れば、都度対応していく。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 5 | | | |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 5 | | | ●安全計画は文書で配布を行った。今後、保護者会で周知すると共に、ホームページにも掲載予定である。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 5 | | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 5 | | | ●県の出前講座を利用し、意識向上に努めている。 |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 5 | | | ●該当ケースがあれば十分に検討している。その上で必要と判断された場合においては、保護者に説明し承諾を得て計画に記載する。 | |